



山口県内の経済情勢

令和 2 年 8 月

財務省中国財務局
山口財務事務所

(令和 2 年 8 月 4 日公表)

本調査についてのお問い合わせ先
財務省中国財務局山口財務事務所
財務課長 山本
TEL (083) 922-2190(代)
FAX (083) 925-1325
HP 掲載先 :
[http://chugoku.mof.go.jp/
yamaguchi/index.htm](http://chugoku.mof.go.jp/yamaguchi/index.htm)




山口財務事務所の
ホームページ

1. 総論

【総括判断】

「県内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる」









項目	前回（2年4月判断）	今回（2年7月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制され、足下で下押しされており、厳しい状況にある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる	

（注）2年7月判断は、前回4月判断以降、足下（7月末）の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、足下では持ち直しの動きがみられる。生産活動は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、足下では下げ止まりつつある。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きがみられる。

【各項目の判断】

項目	前回（2年4月判断）	今回（2年7月判断）	前回比較
個人消費	弱含んでいる	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、足下では持ち直しの動きがみられる	
生産活動	弱含んでいる	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、足下では下げ止まりつつある	
雇用情勢	改善のテンポが緩やかになっており、新型コロナウイルス感染症の影響が懸念される	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きがみられる	
設備投資	元年度は前年度を上回る見込み	2年度は前年度を上回る見込み	
企業収益	元年度は減益見込み	2年度は減益見込み	
企業の景況感	「下降」超幅が拡大	「下降」超幅が拡大	
住宅建設	前年を下回る	前年を下回る	
輸出	前年を下回る	前年を下回る	

【先行き】

先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくなかで、各種政策の効果もあって、厳しい状況から持ち直しに向かうことが期待される。ただし、新型コロナウイルス感染症が地域経済に与える影響に十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、足下では持ち直しの動きがみられる」

ドラッグストア販売で飲食料品や日用消耗品などの売上が伸びたほか、ホームセンター販売で工具や資材などが、家電大型専門店販売でパソコンなどが堅調なことから、それぞれ前年を上回っている。一方で、百貨店・スーパー販売で衣料品など、コンビニエンスストア販売でカウンターフードなど、乗用車販売で軽乗用車などが低調なことから、それぞれ前年を下回っている。こうしたなか、前年を下回っている業種においても、足下で来店客数や売上に持ち直しの動きがみられる。このように、個人消費は、全体では、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、足下では持ち直しの動きがみられる。

(主なヒアリング結果)

- 外出自粛により、冷凍食品やパスタなどの保存できる食品や掃除用品などの売上が大きく伸びた。(ドラッグストア)
- 自宅で過ごす時間が増えたことから、家庭菜園やDIY 関連商品などが堅調であった。(ホームセンター)
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、テレワークやオンライン授業が普及したことから、パソコンが堅調となっている。(家電大型専門店)
- 新型コロナウイルス感染症の影響で、外出自粛や時短営業により来店客数が減少したことから、店舗のレストランや衣料品の売上が大きく減少した。緊急事態宣言の解除後は、ファミリー層などの一部の客層で売上が戻ってきている。(百貨店)
- 外出自粛でカウンターフードなどが低調であったものの、緊急事態宣言が解除されて以降、オフィス街や繁華街などの周辺店舗では減少していた来店客数や売上が戻ってきている。(コンビニエンスストア)
- メーカーの工場の稼働が低下していることから商品の入荷が遅れている。受注台数は落ちていないため、納期の遅れが解消されれば売上が戻る見込みである。(自動車販売店)

■ 生産活動 「新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、足下では下げ止まりつつある」

化学は、品目にばらつきがみられるものの、引き続き高めの操業となっている。窯業・土石は、セメントで、定期修理により減少しているものの、都市部における再開発向けの需要がみられることから、おおむね横ばいとなっている。鉄鋼は、建設資材向けの需要がみられるものの、自動車向けの需要が鈍化していることから、おおむね横ばいとなっている。輸送機械は、自動車で、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、経済活動の再開により、足下では下げ止まりつつある。このように、生産活動は、全体では、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、足下では下げ止まりつつある。

- 新型コロナウイルス感染症の影響で生産調整を行っていた品目も海外取引先の稼働率上昇を背景に生産が徐々に戻ってきており、全体ではほぼフル生産となっている。(化学)
- 都市部における工事中断等の影響により出荷を一時的に抑制していたものの、工事が再開されていることから、今後もフル生産を継続する予定である。(窯業・土石)
- 足下では自動車の生産が再開されつつあるものの、鋼材需要に波及するまでに時間を要するため、回復に向かうのは下期以降となる見通しである。(鉄鋼)
- 新型コロナウイルス感染症の影響で生産調整を行っているものの、5月以降、販売店の営業再開などにより一部の海外市場での需要が回復してきていることから、生産が戻りつつある。(輸送機械)

■ 雇用情勢 「新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きがみられる」

有効求人倍率は、有効求人数が減少していることから低下している。また、新規求人倍率も、新規求人数が減少していることから低下している。このように、雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きがみられる。

- 新型コロナウイルス感染症の影響による自粛により、宿泊客数が大幅に減少したことから、休館日を設け、従業員を休ませている。(宿泊・飲食サービス)
- 新型コロナウイルス感染症の影響で受注が減少していることから、人手が過剰気味となっている。(その他製造)

■ 設備投資 「2年度は前年度を上回る見込み」

- 製造業では、化学などで減少するものの、石油・石炭、食料品などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。
- 非製造業では、小売などで減少することから、全体では前年度を下回る見込みとなっている。

- 老朽化した設備の更新に加え、省エネ化のための合理化投資を行う。(石油・石炭)
- 事業最適化のために生産ラインの組み換えなどを行う予定である。(食料品)
- 前年度に効率化のため食品加工工場を新設したことから、その反動で減少する見込みである。(小売)

■ 企業収益 「2年度は減益見込み」

- 製造業では、鉄鋼などで増益となるものの、化学、情報通信機械などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。
- 非製造業では、学術研究・専門・技術サービスなどで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超幅が拡大」

- 企業の景況判断BSIは、「下降」超幅が拡大している。なお、先行きは「下降」超幅が縮小する見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を下回る」

- 新設住宅着工戸数で見ると、貸家、分譲住宅などが減少していることから、前年を下回っている。

■ 輸出 「前年を下回る」

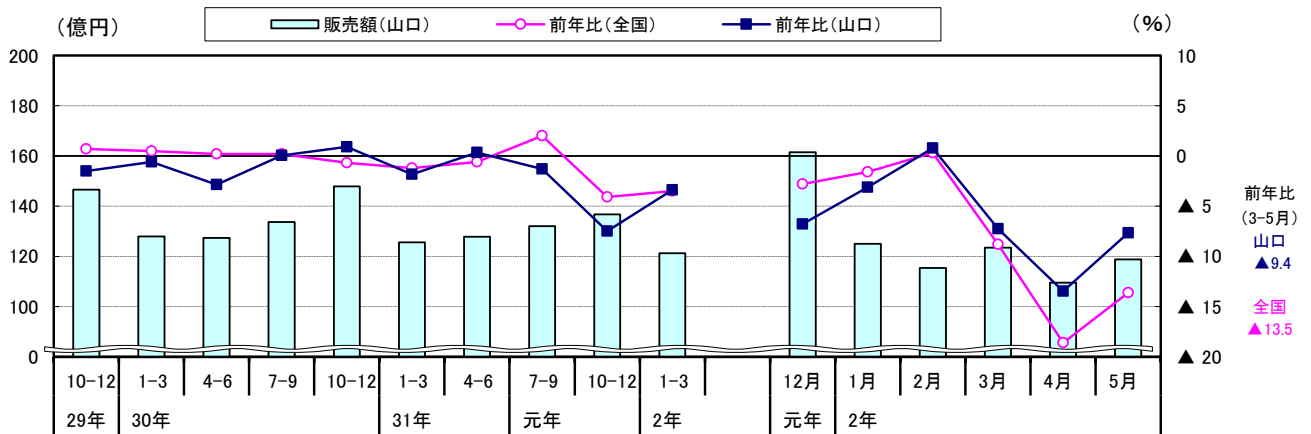
- 県内通関実績（円ベース）で見ると、輸出は、自動車、化学製品などが減少していることから、前年を下回っている。地域別では、北米、西欧などで減少している。
なお、輸入は、石油製品、石炭などが減少していることから、前年を下回っている。地域別では、アジア、中東などで減少している。

資料編

目次	ページ
1. 個人消費	5～6
2. 生産活動	7
3. 雇用情勢	8
4. 設備投資	9
5. 企業収益	10
6. 企業の景況感	10
7. 住宅建設	10
8. 輸 出	11

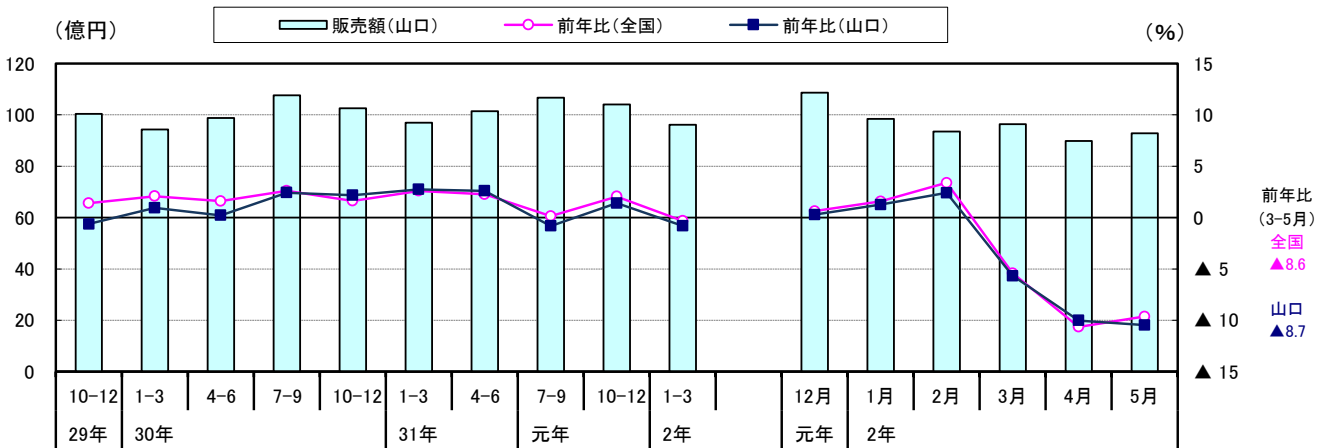
1. 個人消費 …新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、 足下では持ち直しの動きがみられる

(1) 百貨店・スーパー販売額(全店舗:販売額及び前年比)



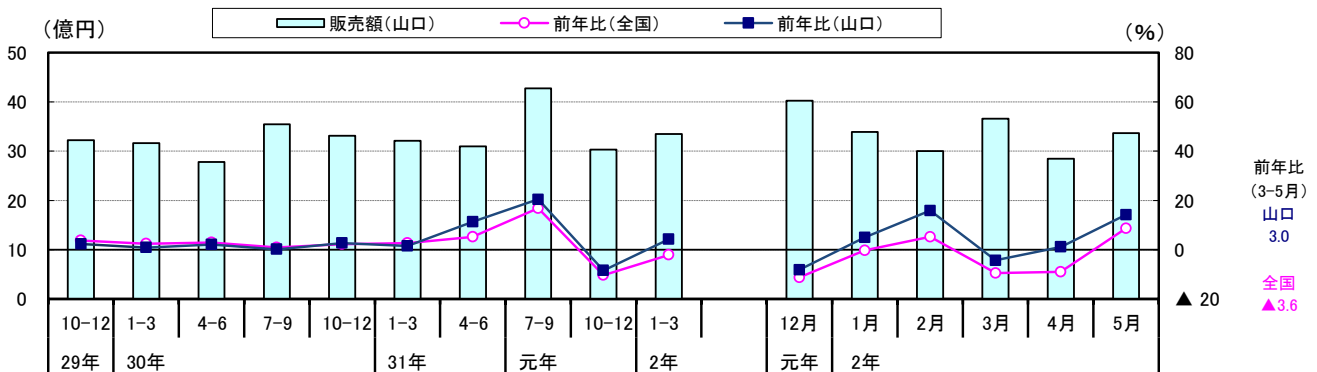
(資料出所:経済産業省、中国経済産業局)

(2) コンビニエンスストア販売額(全店舗:販売額及び前年比)



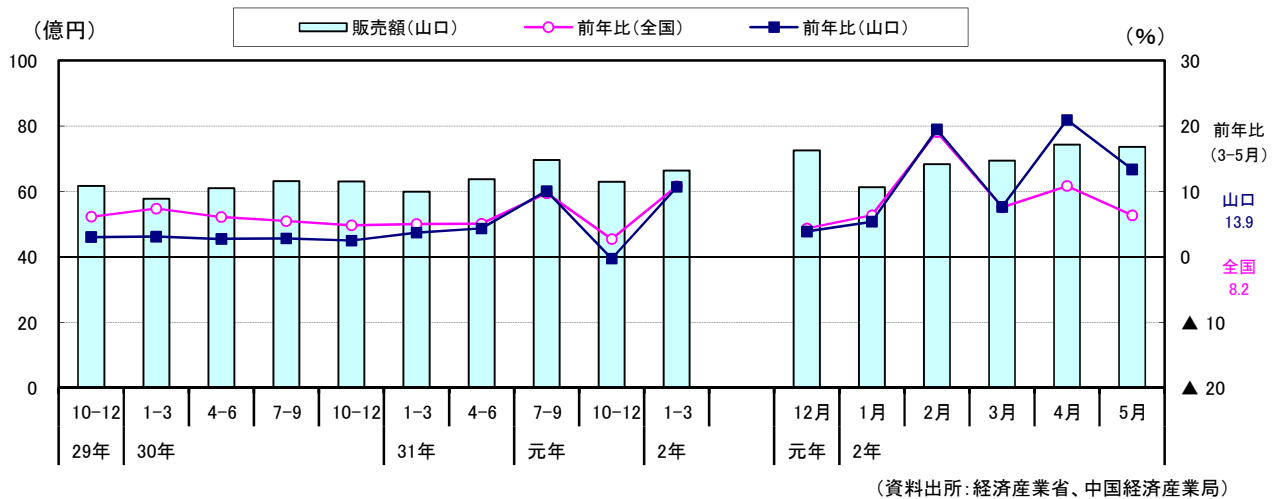
(資料出所:経済産業省、中国経済産業局)

(3) 家電大型専門店販売額(全店舗:販売額及び前年比)

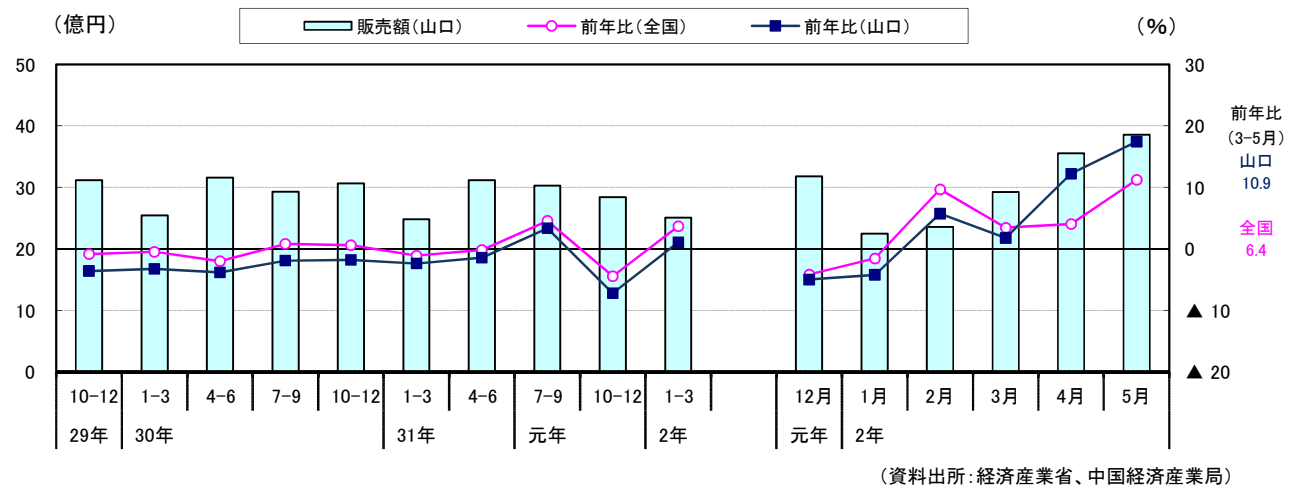


(資料出所:経済産業省、中国経済産業局)

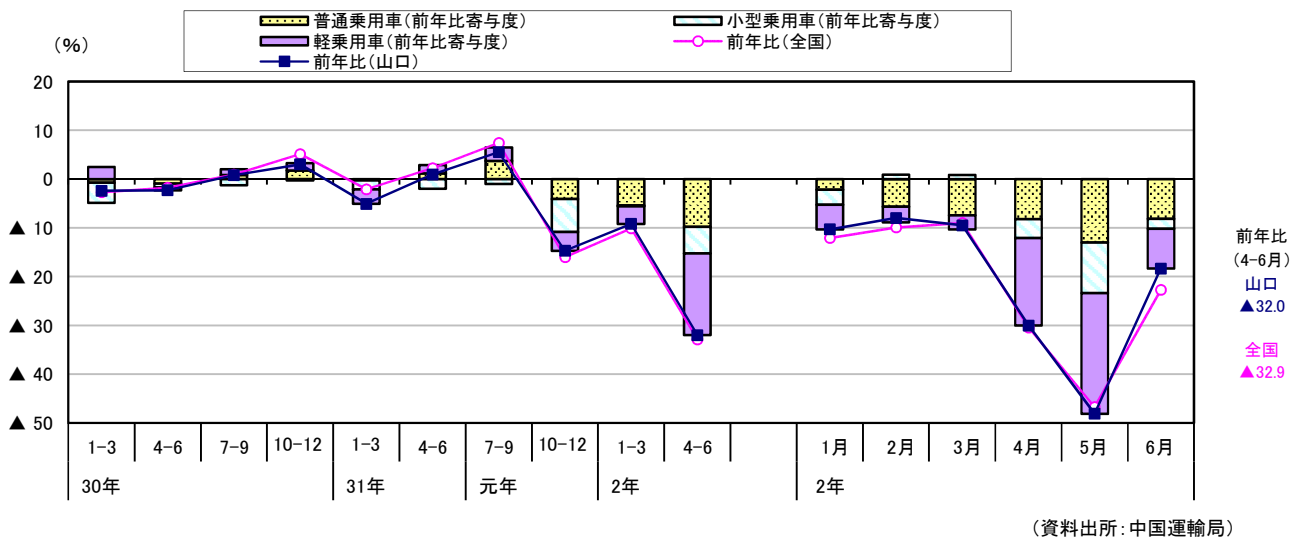
(4) ドラッグストア販売額(全店舗:販売額及び前年比)



(5) ホームセンター販売額(全店舗:販売額及び前年比)



(6) 乗用車販売(新車登録・届出台数:前年比及び車種別寄与度)

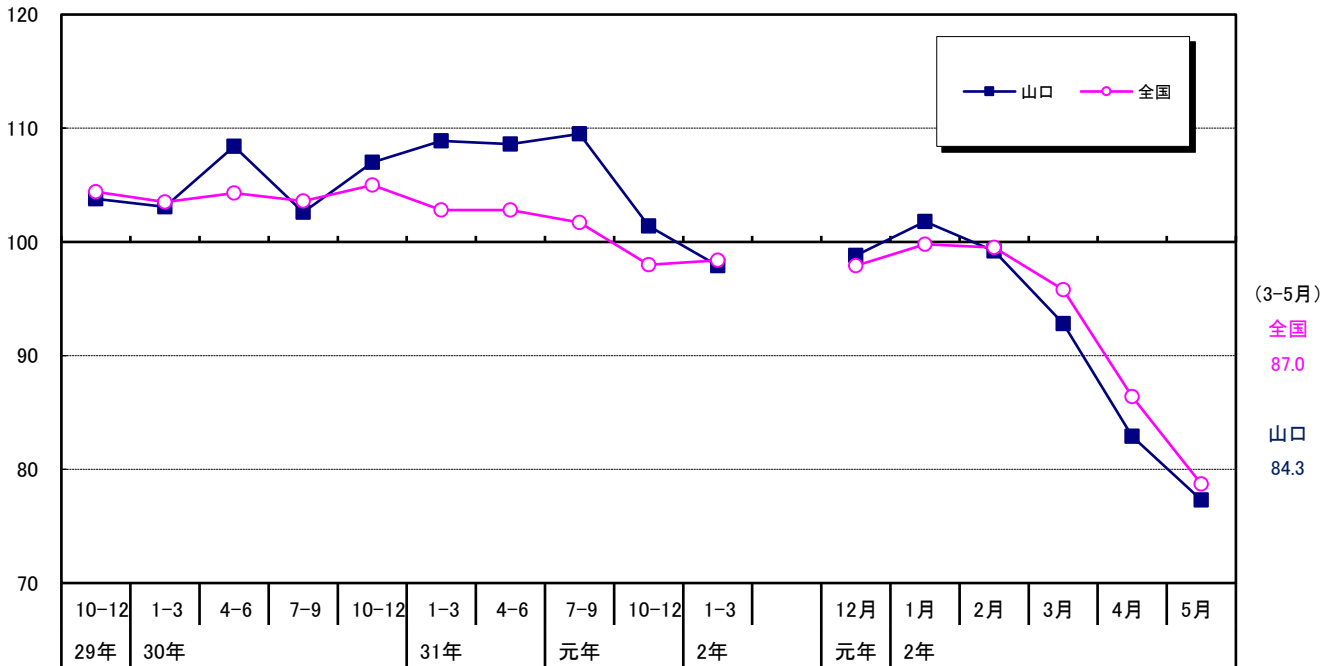


(グラフの見方) (1)から(5)の各グラフの四半期毎の販売額は、1月あたりの平均を表示。

2. 生産活動 … 新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、足下では下げ止まりつつある

(1) 鉱工業生産指数(季節調整済)

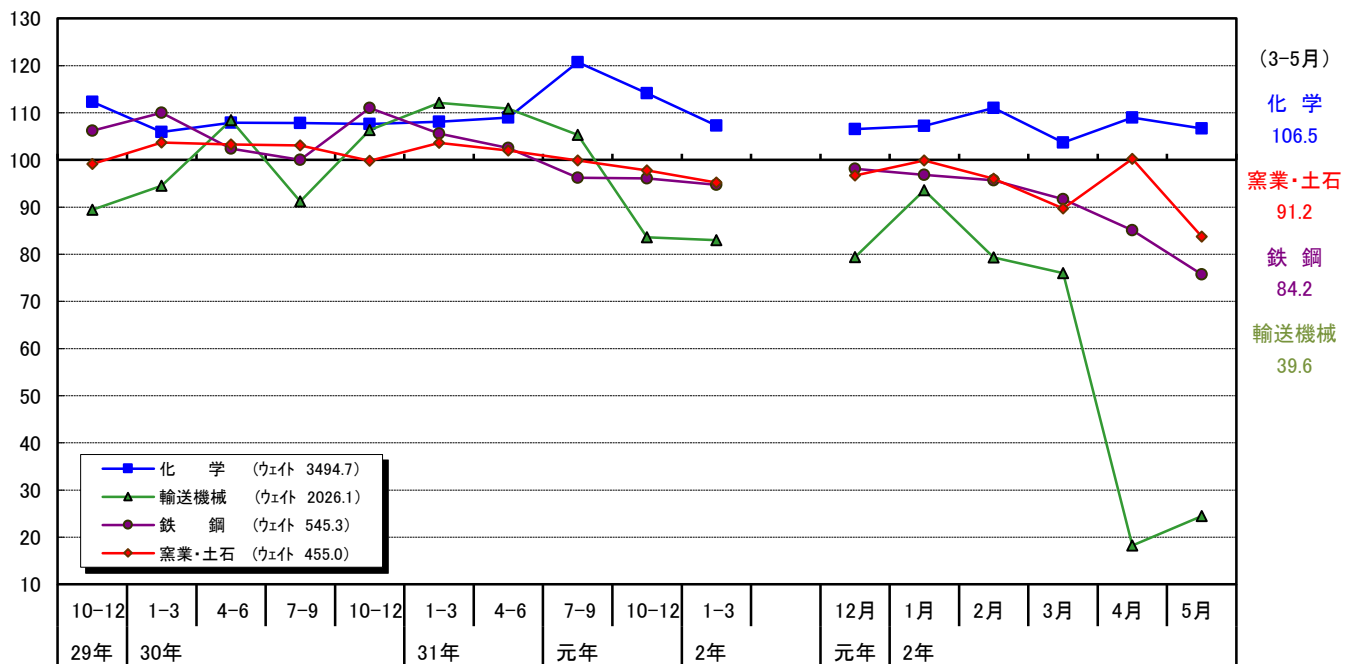
(平成27年=100)



(資料出所: 経済産業省、山口県統計分析課)

(2) 山口県 主要業種別 鉱工業生産指数(季節調整済)

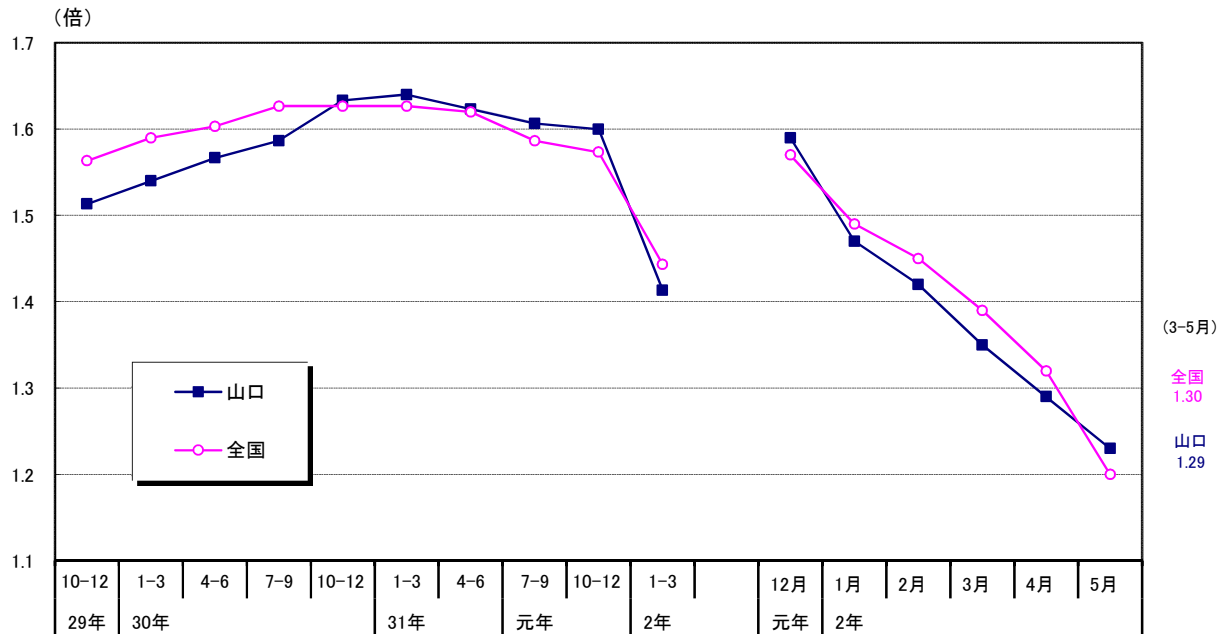
(平成27年=100)



(資料出所: 山口県統計分析課)

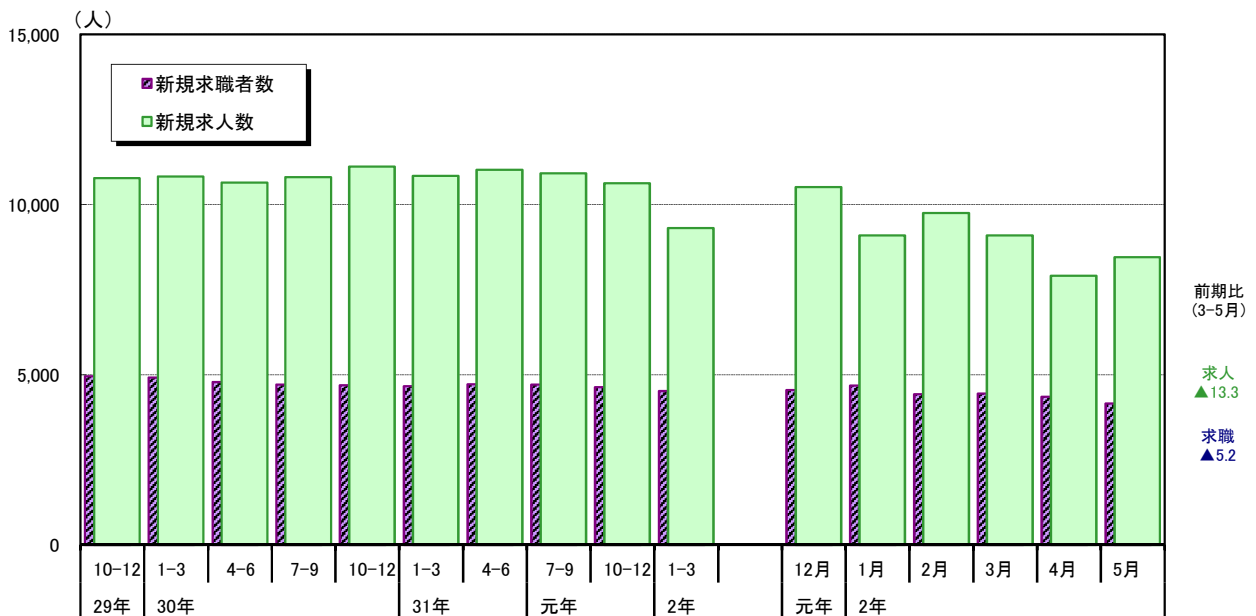
3. 雇用情勢 …新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きがみられる

(1) 有効求人倍率(学卒除く、季節調整値)



(資料出所:厚生労働省、山口労働局)

(2) 新規求職者数・新規求人数(学卒除く)

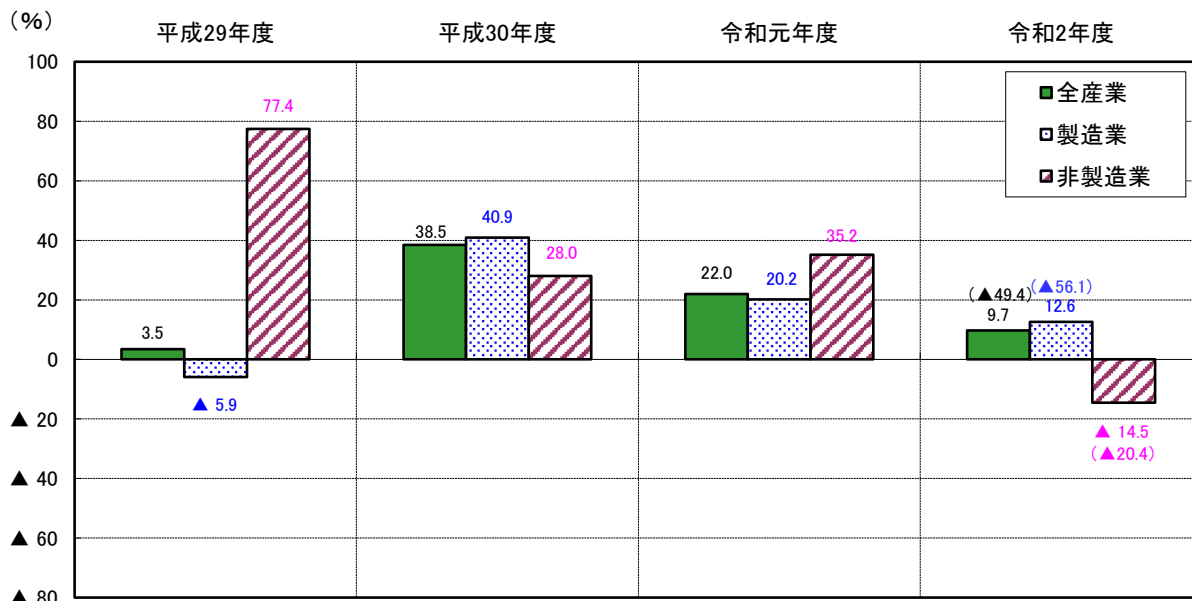


(注) 1. 四半期の新規求職者数及び新規求人数は月平均
 2. 前期比は12-2月期対比

(資料出所:山口労働局)

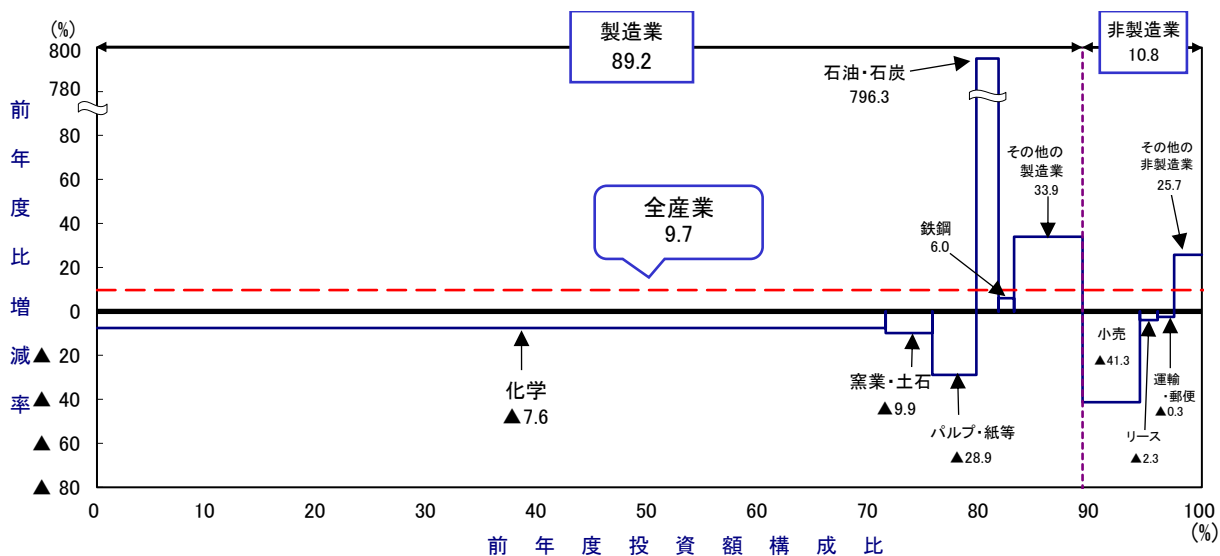
4. 設備投資 … 2年度は前年度を上回る見込み

(1) 設備投資(前年度比)



- ・ ()は前回[令和2年1月から3月期]調査結果
- ・ 平成29、30、令和元年度は参考値(標本の抽出替えを毎年実施)
- ・ 土地購入額を除き、ソフトウェア投資額を含む

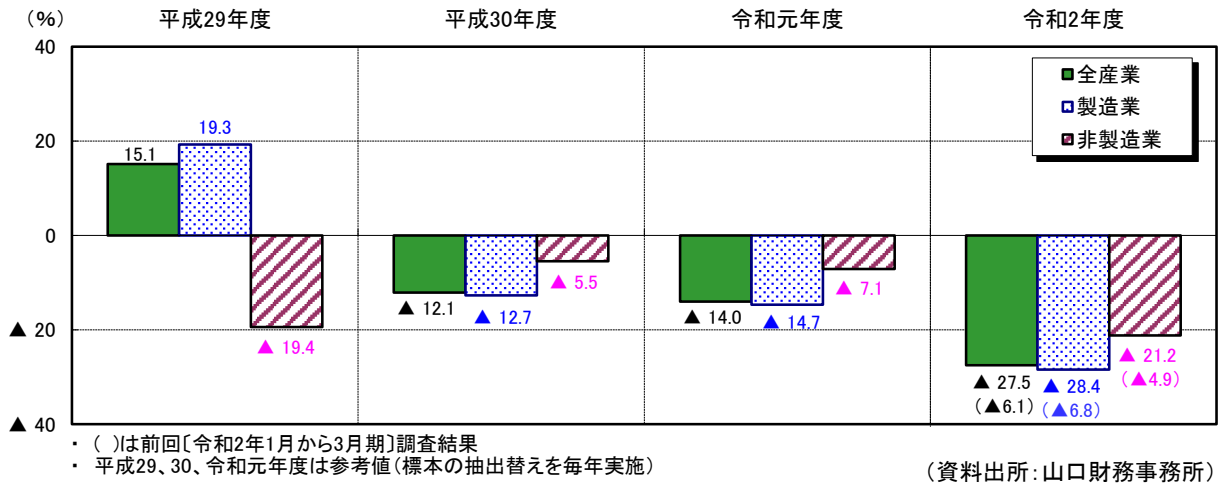
(2) 主要業種別 設備投資状況(2年度)



(資料出所: 山口財務事務所)

5. 企業収益 … 2年度は減益見込み

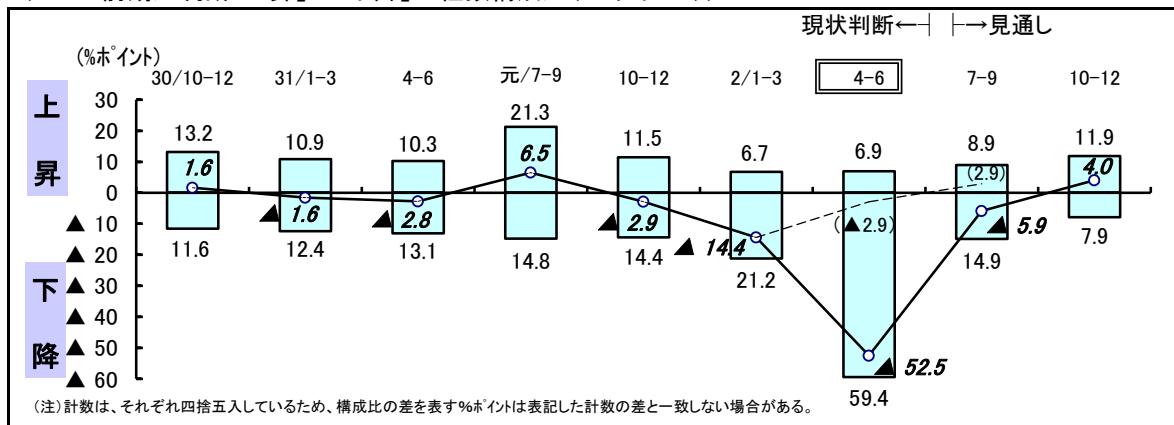
経常利益(電気・ガス・水道業及び金融業、保険業を除く、前年度比)



6. 企業の景況感 … 「下降」超幅が拡大

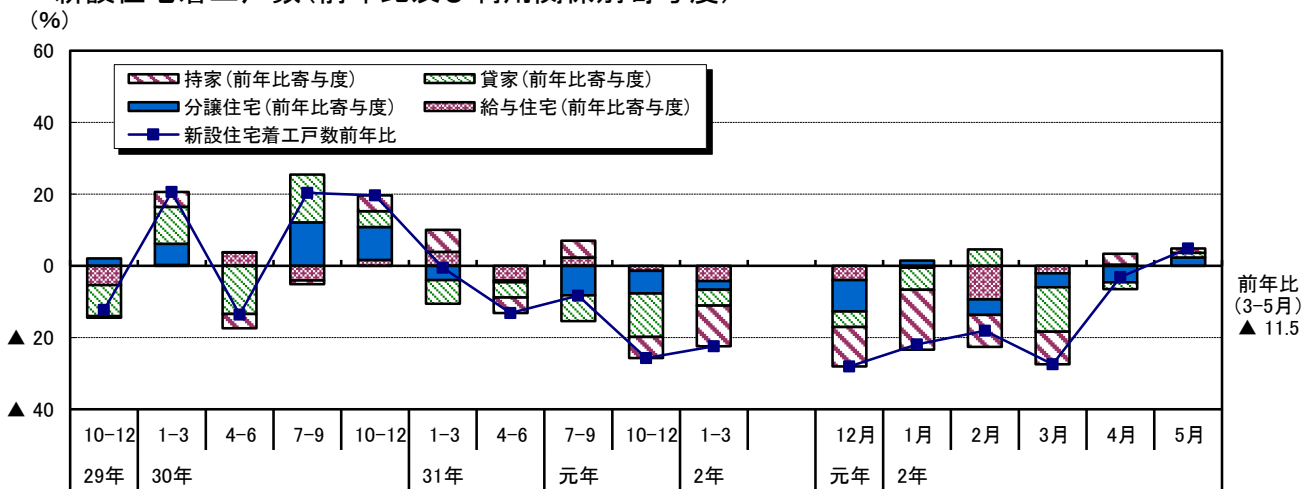
景況判断BSIの推移

(BSI: 前期比判断「上昇」-「下降」の社数構成比(%ポイント))



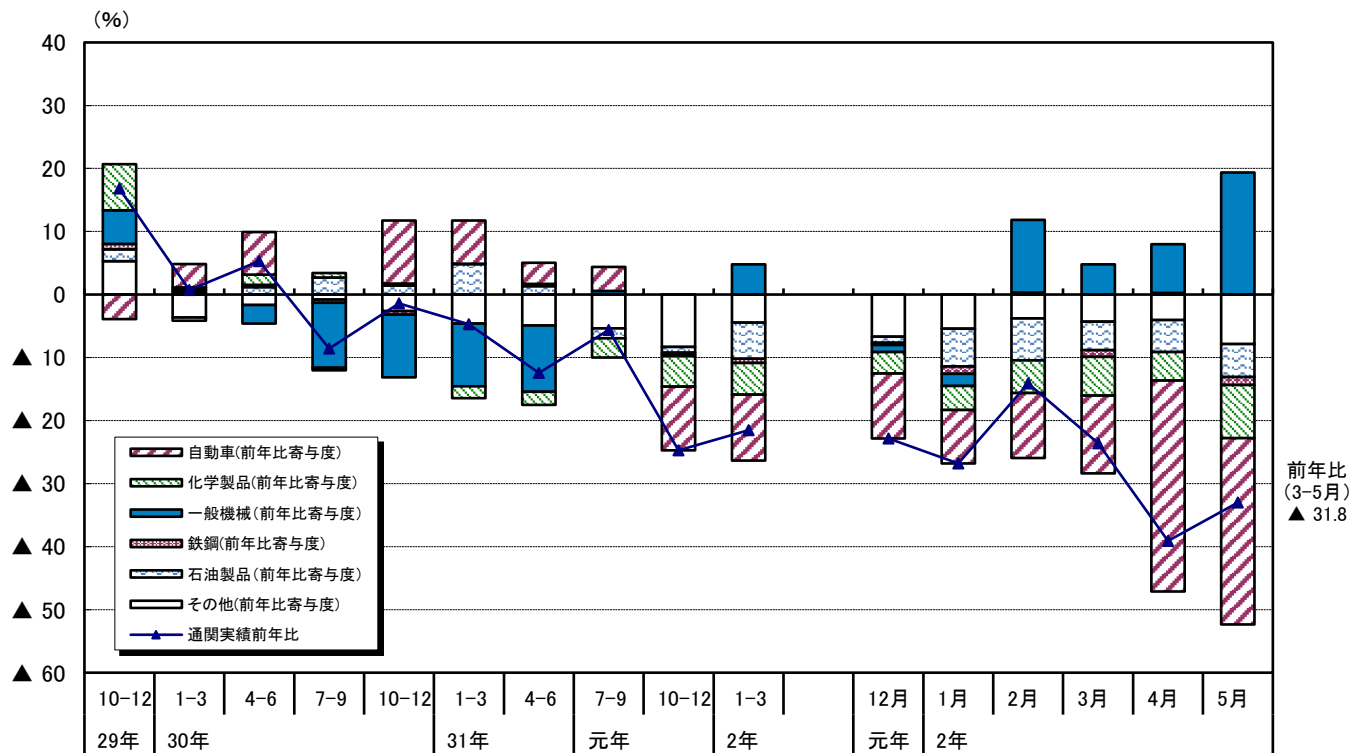
7. 住宅建設 … 前年を下回る

新設住宅着工戸数(前年比及び利用関係別寄与度)



8. 輸出 … 前年を下回る

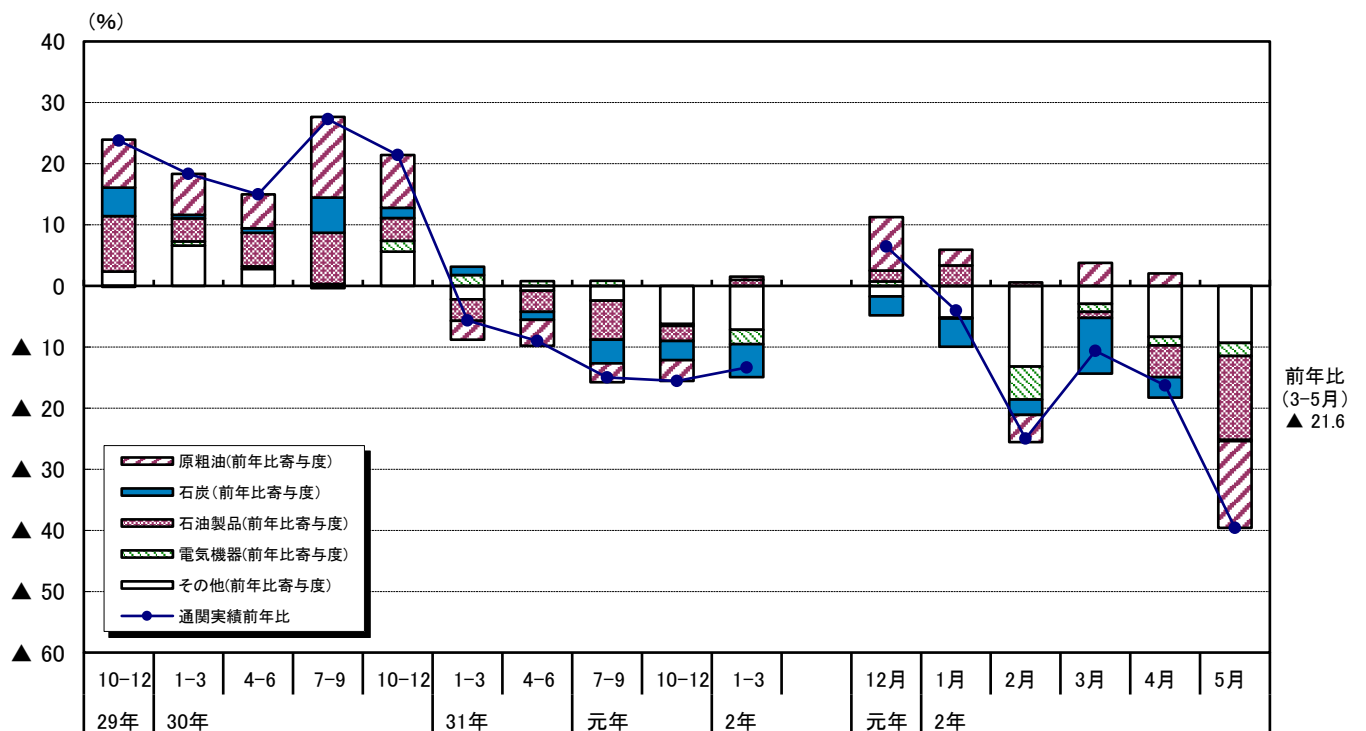
輸出(円ベース・前年比及び品目別寄与度)



(資料出所: 神戸税関、門司税関)

<参考>

輸入(円ベース・前年比及び品目別寄与度)



(資料出所: 神戸税関、門司税関)